「初めてのCAD データ管理&ここまでできる!モバイルでのCAD データ活用」セミナー Autodesk Vault 2015 Inventor 3D / 2D データ管理

オートデスク株式会社技術営業本部 2014年4月

🙏 AUTODESK.

3D データ管理の課題と解決策

- 他のメンバが編集中なのか確認できない。
 → チェックイン、チェックアウトによるデータの排他制御
- どのユニットを出図したか判断ができない。
 → ライフサイクルによるステータス管理
- 流用設計の際、リンクが切れるため全ての関連ファイルを コピーしなければならない。
 → コピーデザインでのデータ流用



© 2014 Autodesk

Autodesk Vault システム構成





本日のデモデータ



\Lambda AUTODESK.

© 2014 Autodesk

Vault Client のご紹介

3 種類の Vault Client をご用意しています。



<u>Vault Explorer</u> Vault Explorer は ・Vault 構造の表示 ・ファイルの追加、削除 ・ファイルの様々な操作 を実行できます。

Vault Add-in Client

Vault Add-in Client は ・アプリケーション環境内の基本 Vault 機能の操作 ・データの検索 を実行できます。

Vault Thin Client

Vault Thin Client は • Vault データの参照 • MS-Office データの追加 を実行できます。



© 2014 Autodesk

Vault データの検索

Vault 内のデータを素早く検索して情報を簡単に取得できます。

Vault データの検索・配置

ファイルの検索、表示、配置より すばやく簡単に行えます。



Thumbnail 検索

データのThumbnail 表示で 目的のデータを検索できま す。







· @ D E. M

1

. 9

1,87

OUP

リリース湯

リリー2:清

リリース:番

· 102



設計中のデータを Vault に登録、もしくは Vault から取得します。

<u>チェックイン/チェックアウト</u>

- ・設計中のデータをチェックインして、 バージョン履歴を付けて変更内容を Vault に保存します。
- チェックインデータの関連ファイルも
 同時にチェックインできます。
- ・編集対象のデータをチェックアウトし、
 ローカルマシンに取得します。
- チェックアウトしたデータはロックが掛かり、
 他人は編集できません。





データのカテゴリ

 ドキュメントやディレクトリを簡単に分類して動作やライフサイ クルを定義できます。

カテゴリ設定によるワークフローの効率化

- カテゴリを設定して履歴やライフサイクル、
 ステータス、版管理を自動的に定義できます。
- ・複数のファイルをまとめて変更できます。
- Vault Add-in Client から直接カテゴリを設定、
 変更できます。





ライフサイクル

ファイルやフォルダにライフサイクルを定義して、プロジェクトの進捗状況をトラッキングできます。

<u>フォルダ、ファイルのライフサイクル</u>

 ファイルやフォルダ単位でライフサイクルを 定義し、進捗状況を確認できます。
 ステータスによってアクセスを管理できます。

▼ ステータスを変更 - 複数の	ファイル	
新しいライフサイクル ステー	-タスを選択:	
柔軟なリリース プロセス	-	処理中
<u></u>		リリース済
		レビュー用
La = 31		処理中
夕前	7=_67	廃番
	人ナータス	
Shock Absorb	処理中	柔軟なリリース プロセス
Shock Body I	処理中	柔軟なリリース プロセス =
Shock Cartri	処理中	
Shock Cartri	処理中	ステータス変更 - 'Shock Absorber Fro
- Shock Cartri	処理中 Ŧ	目なのフテータフ・ 処理由
7 オブジェクト/2386 KB		
		レビュー用
	j	元 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
コメントを入力:		
		1メントを入力:
		/ビュー中
		目 OK キャンセル ヘルプ
		■ OK キャンセル ヘルプ



マップデータ

Inventor で開いたモデルの進捗状況をグラフやレポートで確認できます。

レポートツール

- 各モデルのステータス状況や作業中の データをレポート表示できます。
- Vault で予め用意されたテンプレート、 または独自のレポートテンプレートを 作成できます。





データカードによるプロパティ更新

 選択した Inventor データに対応する Vault の詳細情報やプロ パティをまとめて参照・更新できます。

<u>複数ファイルのプロパティ参照</u>

- ・複数のプロパティ情報を纏めて確認する
 ことができます。
- ・選択した各ファイルを纏めて更新する ことも可能です。





Vault データの流用

Vault に登録してある過去の設計データを再利用して新規モデルを作成することで、設計業務を短縮できます。

コピーデザインによる関連データの再利用

- ・元データと関連する構成、ファイルを再利用
 できます。
- ファイル毎に流用、置換、コピーを選択 できます。
 - 流用:もとのデータをそのまま利用
 - ・ 置換:別のデータに置き換え
 - コピー:もとのデータをコピーして 新規データを生成

	¢/Data	/Demo/Si	spension/Shock At	sorber Front/				
デサインのコピー元:	\$/Data/Demo/Suspension/Snock Absorber Front/							
コピー デザイン先:	\$/Data	\$/Data/Demo/Suspension/Shock Absorber Front/						
コピーするリビジョン:	最新 (非	ג-עט	データ優先)					
			☑ コピー済み	ファイルのアイテム	番号を更新			
ファイル名	- / U	ビジョン	新しいファイル名	Vault パス	ファイル ステ…	-		
- 🕞 Samples.ipj			Samples.ipj	\$/Data/	再利用	Ξ		
▶ 🗄 📲 🚷 Shock Absor	b	А	Shock Absorbe	\$/Data/Demo/	38-			
🖶 🖶 🚱 Shock Bo	d	Α	Shock Body (2)	\$/Data/Demo/	コピー			
- 10 Shock	В	А	Shock Body 1	\$/Data/Demo/	置換			
🗄 🛱 🔇 Shock	C	Α	Shock Cartridg	\$/Data/Demo/	コピー			
	Ri	А	O-Ring.ipt	\$/Data/Demo/	再利用			
	oc	Α	Shock Cartridg	\$/Data/Demo/	再利用	*		
選択されたファイルのコピ	一(は新規	デザインで	で使用されます。		202	=		
名前付けスキーマ					プレビュー			
◎ 接頭語:) – ž		適用	and the second	3		
▶ 接尾語:			名前の一致	元に戻す	C			
			0	ж + т:		レプ		



